

放課後子供教室 「甲府モデル」

「甲府モデル」による放課後子供教室の体験プログラム例

- 自主学习/わからないところ解決教室/夏休みの宿題対策 (教員経験者・コーディネーター)
 - 英語教室/琴体験/フラワーアレンジメント/陶芸/イラスト教室/絵画教室/気象予報教室
ヒップホップダンス教室/健康安全教育プログラム/けん玉教室/クラフト (外部講師)
 - 絵手紙/手話/地区の歴史と文化/クラフト/折り紙/キノコ/木の実工作 (地域住民・保護者)
 - 出張イベント/移動アトラクション/仲間づくりゲーム/竹馬教室/昔の遊び教室 (公益財団法人)
 - 子ども省エネ・消費者講座・安全・食品ロス/バドミントン教室 (行政：県・体協)
 - 開府500年関連 (考古学教室) 講座/フランス文化交流/環境教室 (行政：市)
 - ダブルダッチ教室/ジャグリング教室 (大学生)
- など



地域、各種団体等との連携による多彩な体験プログラムの実施

甲府市放課後子供教室開設状況

<教室名>

R4年4月現在14教室

- ① [H19~羽黒小] みんなの居場所「羽黒ほっとサロン」[学校内]
- ② [H19~R4ReNew新紺屋小] 新紺屋わくわくスクール[学校内参加型] (甲府モデル教室へ移行)
- ③ [R3ReNew~里垣小] 里垣ふたば子ども教室[学校内] (甲府モデル教室へ移行)
- ④ [H19~R4ReNew~湯田小] アンビシャススクール[悠遊館] (甲府モデル教室へ移行)
- ⑤ [H22~貢川小] 三世代ふれあい教室[学校内]
- ⑥ [H23~国母小] 国母おひさま放課後子ども教室[学校内参加型] (H29 Re半年休止後甲府モデルで再開)
- ⑦ [H24~善誘館小] 富士川放課後子ども教室[悠遊館]
- ⑧ [H28~中道南小] 中道南小放課後子ども教室[学校内] (甲府モデル)
- ⑨ [H29ReNew~石田小] イッシー放課後子ども教室[学校内参加型] (甲府モデル)
- ⑩ [H29~甲運小] 甲運小放課後子ども教室[学校内参加型] (甲府モデル)
- ⑪ [H30~北新小] ほっこり放課後子ども教室[学校内] (甲府モデル)
- ⑫ [H30.11Re~舞鶴小] まいづる未来子ども教室[学校内参加型] (H30半年休止後甲府モデル)
- ⑬ [R1~千塚小] 千塚ときめき子ども教室[学校内] (甲府モデル)
- ⑭ [R3~大國小] 大國っ子チャレンジ子ども教室[学校内] (甲府モデル)

※ 「一体型」という名称は誤解を招くことが多いため、甲府市では便宜的に「参加型」という名称を使用しています。

※ []内は開設年度と学校名です。「悠遊館」とは地域コミュニティ活動の拠点施設です。

▶ 放課後児童クラブ参加型 (一体型) 教室実施上の留意点

- (1) 「地域感染レベル」等の行動基準に応じたきめ細かな対応
- (2) 1年生から6年生までの年齢差を包み込む安全で教育的なプログラムの提供
- (3) 参加児童の安全管理⇒①「感染対策」(消毒、検温、換気、座席設定)
②「活動中」(けが、熱中症、トラブル など)
③「放課後児童クラブと会場の往復時」の安全確保
- (4) 放課後児童クラブ参加型教室としての「合理的配慮」

▶ 「地域感染レベル」に基づく対応

- ▲ 特に感染リスクの高い活動 (学校教育) …
集会(集合整列)、ハイタッチ、歌唱、管楽器演奏、調理実習、身体接触運動、水泳、近距離の実験観察 他
- ▲ 地域感染レベル2・3の場合…
① 身体的距離の確保を優先(2m)。
② 同じ方向を向く。対面にならない。
③ 近距離で共同活動をしな。大きな声を出さない。
④ 屋外で運動する、体育館では呼気が激しくなるような運動はしない など
- △ 地域感染レベル1の場合…
① 身体的距離(1m)
② 対面の活動は短時間で



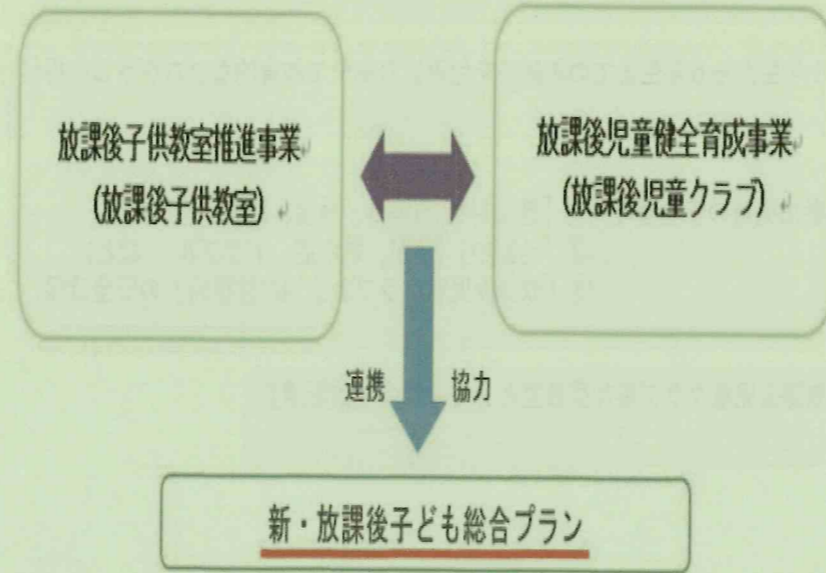
甲府市の鳥「カワセミ」



イッシー放課後子ども教室

- 名称
イッシー放課後子ども教室
- 開設
平成29年4月～
- 代表
長田 早苗
(甲府市石田地区在住)
- 協働活動サポーター
有泉 洋子
内田 陽子
長田 俊弘
- 対象児童
石田小学校 4年生
(4年生を対象とするが、応募人員に対して希望者が少ない場合のみ、5年生、6年生の順に希望を募る。)
- 開催日
・水曜日の放課後で実施可能な日
・年間15回程度
- 場所
石田小学校会議室
(内容によって体育館)
- 事務局
甲府市教育委員会
生涯学習課生涯学習係
放課後子供教室コーディネーター

新・放課後子ども総合プラン (文部科学省・厚生労働省)

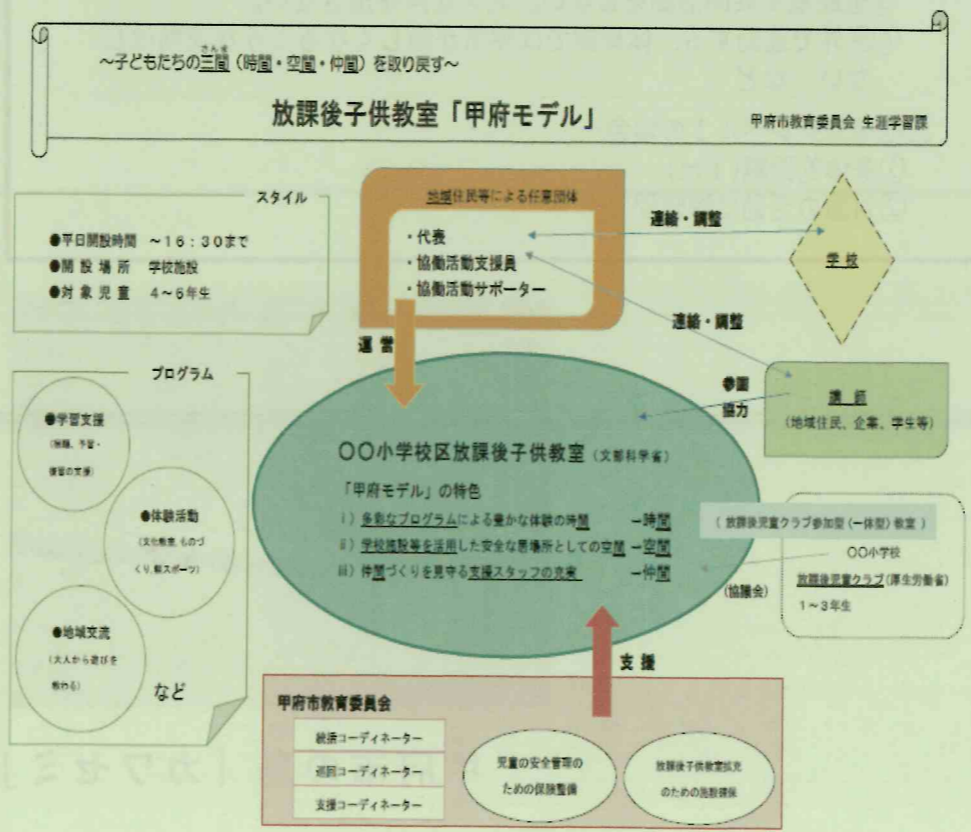


- 都道府県：推進委員会
- 市町村：運営委員会
- 中核市：推進委員会
- 甲府市教育委員会 (生涯学習課)
- 甲府市子ども未来部 (子ども保育課)

甲府モデル「放課後子供教室」と「放課後児童クラブ」との相違点

	放課後子供教室	放課後児童クラブ
担当省庁	文部科学省	厚生労働省
目的	地域社会において安全に教育的な学び体験のできる放課後の居場所づくりを推進する (※学童保育ではない)	保護者の就労状況に伴う学童保育 (※入会要件あり)
対象	当該小学校在籍の4年生から6年生まで (希望制)	保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学生
参加料	無料 (個に持ち帰る材料費などは実費徴収する場合あり)	有料
開設日時	学校のある〇曜日で実施可能な日の授業終了後から午後4時30分まで (午後5時には在宅できるようにする)	平日の午後7時まで
退所	児童が自分で帰宅する	保護者の迎えで帰宅する
活動内容	体験の場 (自主学習支援、体験活動、文化活動、地域交流 など)	生活の場 (おやつ可)
指導員	地域等の教員経験者や協力者、ボランティア など	市専任の放課後児童支援員

甲府市放課後子供教室の運営基準「甲府モデル」



「甲府モデル」による放課後子供教室の特長

- 特別なプログラムによる豊かな体験の時間の提供→児童の生涯学習の後押しに
 - 市独自のコーディネーター (教員OB) の配置により教育的なプログラムによる「学び体験」ができる。
 - 放課後子供教室のプログラムの中から、適切な内容 (安全性・教育的側面) を選ぶことができる。 (参加型)
- 学校施設等を活用した安全な居場所としての空間の提供→児童の安心安全に
 - 学校内施設を曜日時間限定で借用するスタイルにより計画的な開催や安全管理につなげることができる。
 - 学校敷地内に位置する放課後児童クラブであれば、安全に短時間で会場との行き来ができる。 (参加型)
- 仲間づくりを見守る支援者の充実→地域教育力醸成の一助に
 - 教員経験者を含めた地域に根ざした支援者の協力により、活動中の見守りが充実する。
 - 同じ学校に通う異年齢の児童が、時間や空間を共有できる居場所のなかで体験活動を共有することができる。 (参)

